

## ② むかしから<sup>つた</sup>伝わる行事

塩川町には、昔から<sup>つた</sup>伝わる<sup>ぎょうじ</sup>行事がたくさん<sup>のこ</sup>残っています。多くの人が集まって行うもの、それぞれの家で行うもの、神社や寺に<sup>かんけい</sup>関係のあるものなど、いろいろあります。それらの一つ一つに<sup>ねが</sup>人びとのさまざまな願いがこめられています。



さいの神



駒形神社祭礼

左の<sup>しゃしん</sup>写真は、1月16日に行われる「さいの神」です。家いえから<sup>かどまつ</sup>門松、しめなわ、正月かざり、わらなどを集め、木にまきつけて立て、夜になってからもやします。

集まった人たちは、もちやすめを長い木や竹の先にさしたりはさんだりして、火で<sup>や</sup>焼いて食べます。これを食べると病気に<sup>じこ</sup>かかったり、事故にあつたりしないと<sup>い</sup>い伝えられています。

9月の<sup>だい</sup>第3土・日曜日に行われる、秋本番をつげる駒形神社<sup>さいれい</sup>祭礼は、<sup>ふえ</sup>笛や<sup>たいこ</sup>太鼓に合わせて子どもたちのいせいの

いいかけ声が町中にひびきわたり、<sup>かく</sup>各町内から<sup>かそうだし</sup>仮装山車が出て、たくさんの<sup>けんぶつきやく</sup>見物客が集まってきます。

このほかにも、たくさんの行事があります。地区ごとに少しずつちがっている行事もあります。お家の人や行事にくわしいお<sup>としよ</sup>年寄りなどに聞いて調べてみましょう。

わたしたちは、ふるさとに伝わるこれらの行事を、これからも大切にしていきたいものです。